

一般社団法人 茨城県建築士会

令和7年度 第3回 まちづくり委員会 次第

と き 令和7年11月5日（水） 午後3：00～

ところ 水戸市緑町 1-1-18 『茨城県青少年会館』 2階 小研修室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 議 題

1) 会員増強運動について

2) 「防災からのまちづくり」

地震、洪水、風害、津波と災害の宝庫である茨城県のまちづくりを考える

3) その他

5 その他

6 閉 会

令和7年度 新入会員の一覧【正会員 and 賛助会員】

【正会員17名、賛助会員9社】

No	支部名	氏名	勤務先	紹介者	紹介者の役職	備考
1	県庁	荘司 泰久	(一財)茨城県建築センター	柴 和伸	会長	社員
2	賛助会	茨城県鐵構工業協同組合		柴 和伸	会長	
3	賛助会	茨城県塗装工業組合		柴 和伸	会長	
4	賛助会	(公社)日本建築家協会 関東甲信越支部 茨城地域会		柴 和伸	会長	
5	筑波	竹田 陽市	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
6	筑波	山形 郁夫	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
7	県央	櫻井 郁美	SaCRAFT建築設計事務所	石黒 洋子	総務委員	知人
8	県央	平戸 豊	(株)石川建築研究所	石川 啓司	支部常務	所員
9	県央	関 勇太	KITAI建築設計事務所	石井 邦明	研修委員	知人
10	県央	四ツ倉 昌佳	鈴縫工業(株)	和田 淳一	会員委員	社員
11	鹿島	久米 健一	(株)高正建設	高橋 文男	まちづくり委員	社員
12	県央	大橋 美幸	果実建築設計室	滑川 浩一	相談役	取引事務所
13	土浦	児玉 理文	あや設計 一級建築士事務	石坂 健一	元支部長	取引事務所
14	県庁	萩元 悠文	(株)安心確認検査機構	舞木 善郎	安心確認の役員	社員
15	筑波	戸塚 かおり	(株)安心確認検査機構	若柳 綾子	ヘリテージ	取引事務所
16	筑波	加藤 侑	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	ヘリテージ	所員
17	石岡	小田 邦江	(有)ナオエ総合設計	菊池 直衛	元副支部長	所員
18	日立	櫻岡 佳太	(株)白土工務店	先輩と交代	先輩	社員
19	竜ヶ崎	柳町 龍哉	(株)柳建設	先輩と交代	先輩	社員
20	石岡	古木 いずみ	古木建設	三輪 清司	支部長	
21	賛助会	コマツ茨城(株)		清水 洋一	会員委員	
22	賛助会	昭和工機(株)		設備設計協会の会員		
23	賛助会	宇賀神電機(株)茨城営業所		設備設計協会の会員		
24	賛助会	(株)関川畳商店		若林 純也	賛助会代表幹事	
25	賛助会	(株)テクニティ		若林 純也	賛助会代表幹事	
26	賛助会	(株)タナカ 住宅資材部門 茨城支店		潮田 充	元常務理事	

建築士事務所の所属建築士 インターネット検索結果

No	TEL依頼	事務所名	建築士数	会員	地域	備考
1	---	増山設計	13人	13	土浦	入会が就職の条件
2	---	柴設計	8人	10	水戸	+ 準会員が2名
3	---	相澤設計	8人	8	つくば	
4	---	根本(洋)設計:	8人	8	水戸	
5	---	パル設計	7人	7	水戸	
6	---	三上事務所	18人	7	水戸	
7	---	須藤設計	6人	6	土浦	入会が条件(けんばい加入の為)
8	---	里山建築研究所	5人	5	つくば	
9	---	根本英設計:裕子	4人	4	土浦	
10	7/4済み	桜設計	9人		水戸	
11	7/7済み	市毛設計	7人		水戸	
12	7/7済み	早川設計	6人		水戸	
13	7/7済み	戸頃設計	5人		水戸	8/19...1名入会(予定)
14	7/7済み	横須賀設計	9人		水戸	
15	7/7済み	大野設計	5人		土浦	
16	7/8済み	長塚設計	7人		古河	
17	7/8済み	吉田建築計画	5人		石岡	支部長へ依頼。藤岡・友水も
18	7/8済み	ジュン設計:塚本	4人		土浦	
19	7/8済み	荻設計	5人		水戸	
20	7/8済み	匠工房	4人		つくば	7/8稔子へ依頼
21	7/8済み	EOS建築事務所	4人		水戸	大部→天氏へ依頼
22	7/8済み	若柳設計	7人		つくば	
23	7/8済み	オセヤ設計	5人		ひたちなか	
24		エイプラスデザイン	9人		水戸	
25	8/18済み	and HAND設計	8人		つくば	飯島支部長
26		河野設計	5人		つくば	協会長
27		青山設計	6人		土浦	元協会副会長
28		サカイ設計	7人		鉾田	酒井建設
29		MLAND建築デザイン	5人		牛久市	
30		KUNO建築事務所	5人		水戸	
31		A-1建築事務所	4人		行方	
32	3人事務所・・・匠、ヤマト、羽石、汎連合、中、カナザワ、金田、藤井、					大
33	山、ムーブ、コスモ総合、常総開発まで3人事務所					
34		日立建設設計	13人		ひたちなか	
35		棟匠	12人		水戸	
36	8/20済み	不二建設	13人		龍ヶ崎	8/20 秋山支部長が声掛け
37	8/20済み	常磐建設	11人		龍ヶ崎	〃 〃
38		大賀建設	10人		つくば	
39		菅原建設	7人		水戸	
40		令和建設	5人		守谷市	
41		大勝建設	5人		神栖市	
42		黒川建設	4人		日立	
43		葵建設	4人		つくば	

年 度	会員数	入会者数	退会者数	差引き	備考-2
					免許交付式の入会者
平成6年度	3,232				
平成7年度	3,228				
平成8年度	3,208				一級22+二級9
平成9年度	3,212	186	182	+4	91名入会
平成10年度	3,152	131	191	▲ 60	83名入会
平成11年度	3,087	115	180	▲ 65	91名入会
平成12年度	3,017	124	194	▲ 70	98名入会
平成13年度	2,902	119	234	▲ 115	67名入会
平成14年度	2,856	156	202	▲ 46	68名入会
平成15年度	2,804	134	186	▲ 52	40名入会
平成16年度	2,781	146	168	▲ 22	21名入会
平成17年度	2,803	187	170	+17	25名入会
平成18年度	2,747	132	170	▲ 38	22名入会
平成19年度	2,724	123	156	▲ 33	7名入会
平成20年度	2,696	113	131	▲ 18	17名入会
平成21年度	2,594	103	153	▲ 50	12名入会
平成22年度	2,517	84	161	▲ 77	7名入会
平成23年度	2,442	80	155	▲ 75	5名入会
平成24年度	2,395	72	119	▲ 47	数名入会
平成25年度	2,314	53	126	▲ 73	数名入会
平成26年度	2,275	66	105	▲ 39	数名入会
平成27年度	2,199	66	140	▲ 74	数名入会
平成28年度	2,123	46	122	▲ 76	数名入会
平成29年度	2,077	51	97	▲ 46	数名入会
平成30年度	2,033	56	92	▲ 36	入会者 0名
令和元年度	1,979	47	101	▲ 54	交付式は中止(廃止)
令和2年度	1,911	24	92	▲ 68	コロナ禍
令和3年度	1,840	20	91	▲ 71	コロナ禍
令和4年度	1,787	40	93	▲ 53	コロナ禍
令和5年度	1,706	26	106	▲ 80	
令和6年度	1,648	37	95	▲ 58	
令和7年度	1,633	17	32	▲ 15	
合計	H9年～R6年迄	2,649	4,185	▲ 1,558	
1,633 名は、最大値の50.5%である(全国は43.2%)					
(約1,300名の40%を切ると、士会存続の危機である。)					

会員数の増減 比較（ H10年と、R7年3月の比較 ）

順位	士会名	H10年末	士会名	R7年6月	順位	士会名	合計	H27.3月	R6.5月	
							建築士 計	一級	二級	木造
1	東 京	8,510	東 京	4,350	1	東京都	164,148	71,116	92,389	643
2	北海道	7,843	北海道	3,483	2	大阪府	90,869	30,787	59,318	764
3	愛 知	7,350	愛 知	3,020	3	神奈川県	67,886	29,432	37,948	506
4	大 阪	7,005	大 阪	2,150	4	愛知県	62,094	20,474	40,132	1,488
5	長 野	4,545	福 岡	1,980	5	埼玉県	54,064	19,089	34,629	346
6	神奈川	4,220	神奈川	1,950	6	北海道	51,642	12,457	38,560	625
7	新 潟	3,943	長 野	1,889	7	兵庫県	49,879	16,629	32,538	712
8	福 島	3,534	鹿児島	1,652	8	福岡県	46,376	14,036	31,939	401
9	山 口	3,500	茨 城	1,622	9	千葉県	42,812	17,201	25,149	462
10	兵 庫	3,364	広 島	1,590	10	京都府	32,380	7,469	21,236	3,675
11	広 島	3,280	千 葉	1,517	11	静岡県	30,752	7,993	22,119	640
12	千 葉	3,268	山 口	1,511	12	広島県	29,032	9,584	18,946	502
13	静 岡	3,214	新 潟	1,493	13	新潟県	25,565	5,251	19,720	594
14	群 馬	3,208	愛 媛	1,368	14	宮城県	21,646	5,765	15,349	532
15	茨 城	3,185	福 島	1,329	15	長野県	20,780	4,796	15,518	466
16	福 岡	3,175	岩 手	1,233	16	茨城県	19,907	4,724	14,929	254
17	鹿児島	2,964	香 川	1,225	17	群馬県	17,466	4,192	12,984	290
18	岩 手	2,752	兵 庫	1,209	18	福島県	16,943	3,001	13,716	226
19	富 山	2,660	熊 本	1,195	19	岐阜県	16,610	4,582	11,577	451
20	宮 城	2,620	和歌山	1,194	20	岡山県	16,334	3,861	12,380	93
21	秋 田	2,463	埼 玉	1,184	21	熊本県	14,920	3,488	11,137	295
22	愛 媛	2,462	岡 山	1,134	22	石川県	14,645	3,381	10,951	313
23	京 都	2,426	京 都	1,117	23	山口県	14,059	3,525	10,342	192
24	岡 山	2,400	石 川	1,113	24	滋賀県	13,328	3,073	9,825	430
25	熊 本	2,380	島 根	1,110	25	富山県	13,144	2,747	10,012	385
26	埼 玉	2,370	栃 木	1,100	26	栃木県	13,139	3,136	9,875	128
27	栃 木	2,307	群 馬	1,100	27	三重県	13,086	3,449	9,248	389
28	石 川	2,248	富 山	1,041	28	愛媛県	12,707	2,827	9,738	142
29	香 川	2,105	静 岡	1,035	29	山形県	12,410	2,012	10,218	180
30	徳 島	2,074	大 分	1,035	30	鹿児島県	11,993	3,168	8,603	222
31	大 分	2,042	秋 田	909	31	奈良県	11,965	3,807	7,854	304
32	宮 崎	2,024	徳 島	905	32	秋田県	11,550	1,665	9,662	223
33	長 崎	1,999	岐 阜	878	33	香川県	11,356	2,826	8,381	149
34	岐 阜	1,940	長 崎	873	34	岩手県	11,243	2,016	9,061	166
35	島 根	1,900	宮 崎	869	35	長崎県	11,124	2,392	8,493	239
36	青 森	1,729	山 梨	860	36	大分県	10,926	2,739	8,083	104
37	福 井	1,710	佐 賀	860	37	宮崎県	10,831	2,354	8,170	307
38	鳥 取	1,627	青 森	855	38	福井県	10,335	2,303	7,926	106
39	山 形	1,593	沖 縄	829	39	青森県	10,162	1,908	8,048	206
40	奈 良	1,571	高 知	805	40	沖縄県	8,844	2,255	6,581	8
41	滋 賀	1,557	福 井	800	41	徳島県	8,652	1,772	6,802	78
42	山 梨	1,521	山 形	782	42	和歌山県	8,263	1,830	6,328	105
43	三 重	1,482	三 重	678	43	島根県	8,162	1,818	6,106	238
44	和歌山	1,465	滋 賀	662	44	高知県	7,500	1,482	5,931	87
45	高 知	1,411	宮 城	652	45	山梨県	7,159	1,601	5,490	68
46	佐 賀	1,376	奈 良	636	46	佐賀県	6,741	1,594	5,009	138
47	沖 縄	1,060	鳥 取	575	47	鳥取県	5,671	1,276	4,262	133
	合 計	126,872		61,357		合 計	1,171,100	358,883	793,212	19,005
		△ 15,000 4年前より		△ 65,515 27年前より			R6.3月 H27.3月より	381,303 22,420		

差出人: 茨城県建築士会_Su <ibashikai0329@nifty.com>
送信日時: 2025年10月22日水曜日 16:45
件名: ☆☆ 士会員の皆様へ 会員増強お声掛け運動について（お願い）☆☆

士会員の皆様へ

(一社)茨城県建築士会 会長 柴 和伸
会員委員会 委員長 小川 雅良

会員増強お声掛け運動について（お願い）

早速ではございますが、建築士会の会員増強につきましては、令和5年度から会員増強特別運動と定め、各支部並びに会員委員会、その他の委員会の皆様にも建設的なお声かけ運動を展開していただいております。

しかしながら、なかなか会員増加とならない現状がございます。
つきましては、少しでも建築士の入会が増えるように知恵とアイデアを出して頂きアクションを起こして頂きたく会員の皆様へ切にお願いを申し上げる次第でございます。

現状といたしましては60歳以上の会員が53%となりまして、
逆に60歳未満の若い会員が47%という状況となりました。

ぜひ建築士の所員・社員や、知人・友人・お取引先様など、一人以上複数名の方達にお声掛けをしていただきますようお願いいたします。

もし建築士のお知り合いがいない場合は、建築士を目指している方は準会員としてご入会を頂けます。
また、お知り合いの企業様には賛助会員を勧めて頂きますようお願いいたします。
以上。取り急ぎ「会員増強お声掛け運動について」のお願いまで。

①. 建築士の『正・準会員』は、こちら(会員特典と入会申込書の頁)です。

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

<https://i-shikai.com/member>

②. 企業会員の『賛助会員』頁は、こちら(入会案内と入会申込書の頁)です。

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

<https://i-shikai.com/member#wpMember3>

(一社)茨城県建築士会 事務局長 助川 義浩
電話 029-305-0329
建築士会 Web サイト <https://i-shikai.com>



一般社団法人
茨城県建築士会
Ibaraki Society of Architects & Building Engineers

建築士会携帯サイト



☎ **029-305-0329** 
茨城県水戸市笠原町 978-30 建築会館 2F
営業時間：9時～17時（昼休み12時～13時）
[メールで問い合わせ](#)

[Home](#)

[入会メリット](#)

[建築士免許申請](#)

[書籍・保険（けんばい等）](#)

[お役立ち情報](#)

[アクセス](#)

[Home](#) > [入会メリット](#)

[Home](#)

[入会メリット](#)

[建築士免許申請](#)

[書籍・保険（けんばい等）](#)

[お役立ち情報](#)

[アクセス](#)

[メールで問い合わせ](#)

[建築士・建築士事務所の間覧](#)

[茨城県建築士会について](#)

[CPD制度・専攻建築士](#)

[賛助会員企業のご紹介](#)

[建築法規など](#)

[委員会用ページ](#)

[リンク集](#)

[受験情報](#)

入会メリット

[入会方法](#)

[入会申込書（PDF）
（正・準会員）](#)

[賛助会申込書（PDF）
（企業会員）](#)

[賛助会員について](#)

入会メリット（建築士の仲間＝一生の宝）

地域に貢献します！（創立75年、県内外で活躍しています）

- ・ 建築パトロール（年2回）19支部で協力。建築士試験官（年4回）の協力
- ・ 木造住宅耐震診断士の養成講習および派遣・応急危険度判定士の養成講習および判定士連絡訓練、模擬訓練、防災訓練、コーディネーター訓練、判定士派遣などに協力
- ・ 住宅相談や空き家相談会の協力、特定空き家調査・近代和風建築調査への協力など、建築行政への協力や地域防災活動等の幅広い活動を行っています。

会員のための様々な情報！！（会員限定サービス、非売品、割引など）

（1）会員のための「共済補償制度」（**会員限定**）

（「けんばい」加入のために建築士会へ入会するかた多数）

- ・ [けんばい『建築士賠償責任補償』](#)（設計・監理の賠償責任補償、オプション：弁護士応訴費用等）
（4号特例縮小や省工手法の改正にも対応）
- ・ [『勤務建築士用』を創設](#)（建築士個人が訴えられるケース（想定事故例））
- ・ [こうばい『工事総合補償』](#)（請負工事中の事故や工事発注者の賠償リスク、下請け業者が起こした事故）
- ・ [トータルサポート（団体総合生活補償保険）](#)（病気やケガ、がん等の通院補償や収入サポート等も）

（2）メールマガジン（**会員限定**）・ホームページ

- ・ 士会員メール情報サービス（無料）・[『建築士を探そう』net（有料）格安の会員限定サービス](#)・新着情報などでは建築士（会）界に関する最新の情報をキャッチ

（3）講習会、講演会、見学会、懇親会、総会、セミナー、まちづくり事業などの案内

- ・ [建築士の「定期講習」（3年に1度）](#)・[応急危険度判定士養成講習会（5年毎に更新）](#)
- ・ [木造住宅耐震診断士養成講習（5年に1度）](#)・[既存住宅状況調査技術者講習（3年に1度）](#)
- ・ [茨城県知事指定「建築士会 技術講習会」（5年に1度）](#)・[「監理技術者」講習（5年に1度）](#)
- ・ （改正）建築士法・基準法講習会、宅地・県条例等解説講習会・賀詞交歓会・納涼会・総会・懇親・親睦会 など
- ・ 過去には、有名建築家の講演会（安藤忠雄氏、妹島和世氏、堀部安嗣氏、手塚貴晴氏）や、著名人の講演会（元横綱稀勢の里閔や、元プロボクサー輪島功一氏、ピアニスト田崎悦子氏）有名建築物・工作物では、大林組（スカイツリー建設について）乃村工藝社（ガンダム建築について）など。

（4）月刊機関誌『建築士』の配布（**非売品**）

- ・ 毎月1回（年12回）無料配布（**会員限定**）・・・CPD認定教材つき
- ・ 建築法規等改正の速報と解説、建築界の動き、最新技術及び作品の紹介記事を掲載・その他、建築作品賞などの案内（**会員限定のセミナーも**）

（5）会報誌『けんちく茨城』（**非売品**）

- ・ 年3回、の無料配布（**会員限定**）茨城県内の、23支部、8委員会および建築界の動向や横顔紹介など

（6）本会編集刊行図書及び斡旋図書の割引頒布

[お役立ち情報](#)

住まいの相談会（無料）
【茨城県：住宅課】

いばらき安心リフォーム支
援隊 近くの建築士事務所

住宅耐震・リフォームアド
バイザー

長期優良住宅に取り組む
地元工務店

木造住宅耐震診断士

既存住宅状況調査技術者

応急危険度判定士

建築士事務所の登録

建設業の許可・届出

・一割から最大で25%の割引 ※要会員証呈示

全国大会やイベント、会員の親睦・交流事業！！（毎年、全国各地で交流）

いろいろな建物の見学会や全国大会への参加、青年・女性委員会の活動参画、本部・支部レクリエーション事業（ゴルフ・ボウリング・ソフト・バーベキュー・ハイキング）といったイベント盛りだくさんです。

（1）全国大会、関プロ青年大会、全国女性建築士連絡協議会への参加

- ・全国建築士が一堂に集まる大会への参加
2023年 静岡大会、2024年 鹿児島大会、2025年 大阪大会（万博）、2026年 群馬大会、2027年 香川大会、2028年 岩手大会

（2）青年委員会

- ・関プロ青年大会への参加
（2023年 新潟大会、2024年 千葉大会、2025年 東京大会）
- ・一級製図課題現場見学会
- ・とうかい子供キャンパス出展「おうち模型でまちづくり」
- ・研修旅行・親睦会・青年フェイスブックやチャットワーク
- ・全国青年委員会セッションへの参加など、色々と楽しい企画が盛りだくさんです。

（3）女性委員会

- ・全国女性建築士連絡協議会への参加（2023年 石川大会、2024年 東京大会、2025年 山形大会）
- ・わくわくセミナー、ラブアークセミナー（毎月開催）
（建築インボイス制度、木造の改修について、成約単価アップ、WEB/SNSマーケティング等）
- ・体験学習や、年に1・2回見学会（過去には穂積家住宅・群馬県館林美術館等）
- ・女性部会報「アイ・ラル・ネットワーク」の発行（年3回）・新年会（お食事会・企画会）など、様々な初歩的・実践的活動を行っています。

（4）見学会

- ・例年、家族自由参加で、日帰りの格安ツアー（建物見学など）への参加

（5）本会主催の親睦およびレクリエーション事業

- ・賀詞交換会や納涼会、懇親会・ゴルフ大会（毎年、会員100名からの参加があり盛大に開催）
- ・ソフトボール大会（支部対抗トーナメント戦）・ボウリング大会（毎年、個人戦、団体戦（4名）を開催）など

（6）支部事業※支部ごとに異なります

- ・スキー・ハイキング・バーベキュー、ボウリング大会、忘・新年会、懇親会など
- ・建築法規勉強会・研修見学会・研修視察旅行・木工教室、産業祭出展など
- ・雑学研修会、アスベスト勉強会、建築セミナー、まちづくり事業、ワークショップなど

（7）福利厚生事業

- ・全国大会参加の助成金
- ・結婚祝い金 3万円
- ・弔意及び見舞金、表彰祝意など

入会方法（正会員・準会員、賛助会員（企業））

正会員の場合

入会資格	茨城県内に在住又は在勤の方で、一級・二級・木造建築士の資格をお持ちの方。
入会金	2,000円（令和4年度から無料）
本部年会費	12,000円
支部年会費	12,000円前後（合計 24,000円前後）

※支部によって異なります。詳しくは[入会希望支部](#)へお問い合わせください。



さあ、建築士会へ!!

茨城県建築士会では県内24支部および、青年・女性委員会などの各委員会において
色んな研修・セミナーや交流活動を行っています。
また、会員限定の「けんぱい」建築士賠償責任補償制度も充実しています。

Home	建築士免許申請	会員の入会メリット	書籍・保険	お役立ち情報	アクセス
------	---------	-----------	-------	--------	------



(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

士会HP



紹介者会員						年 月 日本受付
年 月 日 入会を申し込みます。						
フリガナ氏名				性別	男 ・ 女	
生年月日	昭和 年 月 日生まれ 平成			会報誌送付先	自宅 ・ 勤務先	
現住所	〒			Eメール		
				T E L		
勤務先名称				Eメール		
勤務先住所	〒			T E L		
				F A X		
級 別	1 級 ・ 2 級 ・ 木造					
建築士免許登録番号	取得県 県 第 号		登録年月日	年 月 日		
支 部 名	支 部 長 印		会 員 種 別	正会員 ・ 準会員		
※事務局記載						
※会員番号		※顔写真		※名簿		※会報
						※入力

ご注意：記載は楷書で丁寧にお願いいたします。また、顔写真1枚を添えてください。

(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

会員種別	賛助会員	申込年月日 年 月 日
(フリガナ) 事業所名	印	
(フリガナ) 代表者	郵送物宛名 <input type="checkbox"/>	
(フリガナ) 担当者	郵送物宛名 <input type="checkbox"/>	
所在地	〒□□□□—□□□□	
電話番号	() —	
FAX 番号	() —	
E メールアドレス		
HP アドレス		
事業内容		
紹介者		

※ **入会金 1万円(初年度のみ)** ☐ **年会費 3万円** ☐

※ 受付年月日 年 月 日

※ 受付 No. _____

魅力的な川辺のまちをめざして

茨城県建築士会の連携と提案

茨城建築県士会 まちづくり委員会

常総市と建築士会との連携強化事業

当初の活動予定

「歴史的建造物の活用」

「レトロな街灯を活かしたまちづくりやイベント」



2015年9月10日の洪水により

「災害に備えた『まち』利活用」へ軌道修正

これまでの活動

- 被災家屋の調査
- 調査員に対するアンケート
- アンケートに基づくパンフレットの作成
- 水害シールの作成

これまでの活動

■調査とアンケート

- 地盤 高さ、浸食
- 基礎 高さ、水はけ
- 素材 吸水性、耐水性、再利用の可能性
- 設備 設置高さ

これまでの活動

■パンフレットの作成

アンケートに基づいた仕様

被災のリスクを軽く出来る家の
建て方を知ってもらう

地域の設計事務所や工務店
に営業ツールとしてもらう



これまでの活動

- 水害シールの作成

水害の記憶をとどめるために

20150910



これからの活動目標

- 住宅や建築にかかわる提案
「常総モデル」
- 生活やまちづくりへの提案
「常総スタイル」

常総モデル

- アンケート、被災家屋調査結果のさらなる分析を進め被災のリスクを軽減出来る仕様、設計
- 常総市の生活を支えるにふさわしい機能、特性を持った住宅、建築のモデル
揚げ船、水塚など歴史的建造物からもヒント
- 外観や素材、色彩（デザインコード）
→ 街並みが整う → ブランド価値

常総市

■ 地勢的特徴

鬼怒川、小貝川の二つの河川

■ 歴史

河川の恩恵を受けて水運のまちとして発展



常総スタイル

かつては水運のまちだったけれど...

今は河川に背を向けたまちになっている。

河川のまちである常総市の良さを活かす生活スタイルをみつける

河川を眺め、楽しむまちづくり → リバーフロント



常総スタイル

■河川を意識した街造り

リバーフロントカフェ、カヤックの発着場など

河川を眺め、楽しむことで常に河川を意識

→防災に繋がる



常総スタイル

■ 河川を学び楽しむイベントの提案

多自然型水辺利用、水辺の学校プロジェクト

河川を知る

→生態系の保護

川のアクティビティ

河川を楽しむ

→人が集まり活性化



この講習会は「建築物の耐震改修の促進に関する法律」における
「木造耐震診断資格者講習」ではありません！御注意ください！

【新規】令和7年度 茨城県木造住宅耐震診断士養成 講習会のご案内

茨城県では、能登半島地震を契機として、木造住宅の耐震診断の更なる普及啓発の強化に加え、事業に係る予算の拡充を図っていることから、耐震診断の申込件数が年々増加しています。

こうした状況に対応するため、木造住宅の耐震性能をチェックする「木造住宅耐震診断士」（県独自の制度）の認定登録をお願いしております。

新規認定を希望される方は、本講習会の受講が必要となりますのでお申し込みください。（受講免除の要件は下段「講習会の受講が免除される方」をご確認ください）

■ 講習会の受講を希望される方

1 講習会の概要

日 時：令和7年12月16日（火）13：00～17：00

場 所：茨城県県南生涯学習センター 中講座室1

（〒300-0036 土浦市大和町9-1 ウララビル5F）

※近隣の有料駐車場ならびに公共交通機関のご利用をお願いいたします。

募集定員：100名

内 容：総論、一般診断法・被災度区分判定・精密診断法・補強方法の概要、例題演習

受講要件：(1)及び(2)の両方を満たしている者又は(3)に該当する者

(1) 建築士法(昭和25年法律第202号)第2条第2項に規定する一級建築士で資格取得後5年以上経過した者、又は同条第3項に規定する二級建築士若しくは第4項に規定する木造建築士で資格取得後10年以上経過した者

(2) 同法第23条の規定により茨城県知事の登録を受けた建築士事務所に勤務する者

(3) 前各号に掲げる者のほか、知事が必要と認めた事項に該当する者

受講料：無料

その他：テキスト「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」((一財)日本建築防災協会発行)をご持参ください。お持ちでない方は、会場内でご購入(7,333円(税込))願います。

2 受講申込み方法

別紙、受講申込書にご記入の上、下記申込み先へFAXをお送りください。

※申込み締め切り：令和7年11月26日（水）

■ 講習会の受講が免除される方

1 受講免除の要件

○新規認定対象者：前5年以内に、(一財)日本建築防災協会主催の「国土交通大臣登録 木造耐震診断資格者講習（テキスト「木造住宅の耐震診断と補強方法」による講習会）」を受講

2 受講免除対象者の認定申請方法

「茨城県木造住宅耐震診断士認定申請書（様式第1号）」に必要書類を添えて、郵送にて下記申込み先まで申込みください。

※ 上記の講習会を免除する要件を証明する、講習修了証明書の写しの添付が必要です。

■ 問い合わせ・申込み先

(一社) 茨城県建築士会 診断士係

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階

(TEL) 029-305-0329 (FAX) 029-305-0330

新 規

「茨城県木造住宅耐震診断士」養成講習会 受講申込書

《茨城県建築士会へFAXにてお申込みください。》⇒ FAX: 029-305-0330

※ 締め切り 令和7年11月26日(水)

※お申込みをいただいた方には、後日、受講券・提出書類等のご案内をご郵送いたします。

※太枠内のみ記入してください。

講 習 日	令和7年12月16日(火) 茨城県県南生涯学習センター
テ キ ス ト	2012年改訂版 「木造住宅の耐震診断と補強方法」2冊組 ¥7,333(税込) <input type="checkbox"/> 持参する <input type="checkbox"/> 購入する (¥7,333)

フ リ ガ ナ		生年月日	昭 ・ 平		
氏 名			年 月 日		
住 所	〒				
	(TEL)		(FAX)		
メールアドレス	@				
勤 務 先 名	(注:事務所登録した名称で記入して下さい。) 事務所登録番号(茨城県知事登録 第 A・B・C 号)				
勤務先所在地	〒				
	(TEL)		(FAX)		
建築士免許証 番 号 登 録 年 月 日	いずれかを○で囲み、免許証番号を記入してください。 一級建築士 (国土交通大臣 第 号 / 年 月 日登録) 二級建築士 (県 第 号 / 年 月 日登録) 木造建築士 (県 第 号 / 年 月 日登録) ※二級・木造建築士の方は、必ず交付された都道府県名をご記入願います。				

事務局記入欄 (必ず下記の、①及び②の両方を満たしている方に限る)

事 務 局 チ ャ ッ ク 欄	① <input type="checkbox"/> 一級建築士資格取得後5年以上経過した者、二級建築士又は木造建築士資格取得後10年以上経過した者 ② <input type="checkbox"/> 茨城県内で建築士事務所登録を行った建築設計事務所等に勤務する者		
受 付 番 号		受 講 料	

（一社）茨城県建築士会 女性委員会
女性委員長 大谷 美由紀
担当 桑原 平沼 大谷

ニホンミツバチの飼育入門 ―巣箱作り解説編―



今年2月に開催した「ニホンミツバチの飼育入門セミナー」の続編で、今回は巣箱づくりについて詳しく解説して頂きます。一級建築士であり、現在は養蜂家として活動している久保田さんを講師にむかえ、ご自身の経験を交えたお話を伺います。身近な生き物たちの存在や役割、私たちの生活環境にご興味のある方、一緒にニホンミツバチについてお話を聞いてみませんか？

※前回のセミナーに参加されていない方でもお分かりになる内容になっています。

1. 日時 令和7年12月7日(日) 13:30～15:30
2. 会場 土浦市勤労者総合福祉センター
「ワークヒル土浦」2階会議室
住所 土浦市木田余東台4丁目1-1
3. 講師 日和庵 久保田 満雄氏
4. 会費 会員 無料（一般の方 1,500円）
飲み物付き



〈会場案内図〉

参加申し込みは、下記へFAXまたはメールにて11月27日(木)までをお願いします。

お申し込み先 （一社）茨城県建築士会事務局（TEL 029-305-0329）

FAX:029-305-0330 E-mail: ibashikai0329@nifty.com

支部名

お名前

当日の連絡先(携帯番号)

mail

事前質問受付（聞いてみたいことがございましたらご記入ください）

※キャンセルされる方は事前にご連絡をお願いいたします

“建築士会 技術講習会”（土法第22条の4第5項）

茨城県告示1455号の指定講習(ご注意…土法22条の2とは別の講習です) ★事務所更新に合わせて5年に一度は受講しましょう

主 催：(一社)茨城県建築士会
(公社)日本建築士会連合会
後 援：(一社)茨城県建設業協会
(一社)茨城県建築士事務所協会
(一財)茨城県建築センター

日 時：令和8年2月13日(金) 午前9時40分～午後3時50分(受付:午前9時10分～)

会 場：茨城県建設技術研修センター 水戸市青柳町4193 (TEL:029-228-3881)

募 集 人 員：先着150名 (テキストは受講者のみ講習会の当日に配布します)

受 講 料：士会員…12,000円 非会員…15,000円 (受講料・テキスト代・税込み)

申 込 方 法：下記の申込書に必要事項を記入し、FAXまたはe-mailにてお申込み下さい

FAX：029-305-0330 e-mail：ibashikai0329@nifty.com〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館 2階 (TEL: 029-305-0329)
(一社)茨城県建築士会 技術講習会係 宛て**受講料は受講日の一ヶ月までに、お振込み又は事務局窓口にて現金でお支払い願います。**

◎振込先 ・郵便局⇒00120-8-59384 口座名：一般社団法人茨城県建築士会
・銀行から振込み⇒ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキュウ)店 当座 0059384

※お振込み手数料は、お客様ご負担でお願いします。

※ご入金後のキャンセルは、受講料を返金いたしませんのでご注意ください

◎建築士事務所登録の更新を【令和8年2月13日～令和9年2月12日】までに申請される方は、
今回の受講証明書が添付書類として有効です。(誓約書を提出済みの方も対象です)

◎受講券は受講料の納入確認後、受講日の一週間前までにFAXします。 ※当日の朝、お弁当予約販売有り

令和8年 2月13日(金)

“建築士会 技術講習会” 申込書

記 入 必 須	氏 名		支 部 名		
	生 年 月 日	西暦 年 月 日	建築士会 CPD番号	※建築士会のCPD登録者のみ記入(11ケタ)	
	電話(携帯可) — —		F A X	— —	
	会 社 名 (建築士事務所の方は登録名)		建築士 登録番号	<input type="checkbox"/> 一級 <input type="checkbox"/> 二級 <input type="checkbox"/> 木造 第 号	
	建築士事務所番号 A・B・C 第 号		二・木取得県	都 道 府 県	
	受講料：士会員 <input type="checkbox"/> 12,000円 <input type="checkbox"/> 非会員15,000円 【納入予定日： 年 月 日】				

※FAXの無い方、および受講券を郵送もしくはメールで希望の方は、ご記入ください。

・住所

・メールアドレス

“とちぎのいい木”魅力発見バスツアー

in 日光

～中大規模木造建築物視察勉強会～

日光エリアを中心に、「とちぎ材」の魅力を感じていただくバスツアーです。

完全予約制 / 昼食付き / 参加費無料

行程

9:10 JR宇都宮駅(出発)

星野工業株式会社(鹿沼市)

株式会社ヤギサワ(日光市)

日光金谷ホテル(昼食:百年ライスカレー)

日光田母沢御用邸記念公園(日光市)

栃木県林業大学校/林業センター

18:10 JR宇都宮駅(着)

令和7年11月28日 **金**

9:10 JR宇都宮駅 新幹線改札前集合



JR宇都宮駅構内図

〈お申し込み期限〉 **11月14日(金)**

〈お問い合わせ〉

栃木県環境森林部林業木材産業課

TEL:028-623-3277

協力：とちぎ材新市場需要開発協同組合 (TSJ)

※昼食会場の都合により、作業着での御参加はお控えください。

視 察 先 紹 介

1 星野工業(株)

鹿沼の木工産業の歴史は、日光東照宮造営のため全国各地から集まった宮大工や建具職人がその技術を伝承したのが始まりと言われ、その高度な木工技術が受け継がれた鹿沼において様々な木製品を製造・販売。創業70年の伝統と技術により、「木材」の特性に合った活用を心掛けており、家庭用品・インテリア用品から、遊具まで、県内でも屈指の高品質な製品を提供している。

2 (株)ヤギサワ

昭和2年、初代八木澤善吉が大工を営みながら製材工場を設立し、長年にわたり日光産の木材を中心に製材・販売。丸太から板1枚まであらゆる種類の木材に関するサービスを提供可能。県内では唯一、関東でも数少ない不燃材・準不燃材や特殊加工材なども手掛け、多くの公共施設や店舗で採用されているほか、特殊な圧縮加工を施した「杉光WAVE」など、他社にはない特徴的な製品を揃える。

3 日光田母沢御用邸記念公園

日光田母沢御用邸は、日光出身で明治時代の銀行家・小林年保の別邸に、当時、赤坂離宮などに使われていた旧紀州徳川家江戸中屋敷の一部を移築し、その他の建物は新築される形で、明治32年に大正天皇(当時皇太子)のご静養地として造営。江戸時代後期、明治、大正と三時代の建築様式をもつ集合建築群で、明治期に造営された御用邸の中でも最大規模の木造建築。

4 栃木県林業大学校/栃木県林業センター

栃木県の林業・木材産業に関する研究や、林業に携わる人材の育成を実施。林業センター木材研究施設では、実大曲げ試験機、接合部試験機等を取り揃え、県内製材工場や大学等と連携しながら、木材の有効利用と新技術の開発に向け研究。林業人材の新たな育成拠点として、オールとちぎ材で新築した「栃木県林業大学校」が令和6年4月に開校。

中大規模木造建築物視察勉強会 参加申込書

ふりがな		所 属 (企業名等)	
氏 名		役 職	
電話番号 (携帯電話を推奨)		メールアドレス	
ふりがな		所 属 (企業名等)	
氏 名		役 職	
電話番号 (携帯電話を推奨)		メールアドレス	

必要事項を記入の上、電子メール又はFAXで11月14日(金)までにお申し込みください。
※必要事項をメールに直接記載いただいても差し支えありません。

【お申込・お問合せ】

E-mail:mokuzai@pref.tochigi.lg.jp

FAX:028-623-3278

栃木県 環境森林部 林業木材産業課 木材産業担当

TEL:028-623-3276